

2025
12/14(日)
10:00 ~ 16:00



陽楽の森



當麻寺護念院

奈良を舞台に、
人と自然との繋がりを考えませんか？

関西広域連合主催 令和7年度(関西の活かしたい自然エリア)



陽楽の森・當麻寺護念院を巡る スタディツアー



当スタディツアーについて

関西広域連合が選定する生物多様性の保全にとって重要な場所「関西の活かしたい自然エリア」を舞台にしたスタディツアーを開催します。

訪問エリアは、古墳や歴史ある寺院が点在する文化的価値の高い地域です。また、豊かな里地里山の自然が残されており、貴重な生きものも確認されている、生態学的にも重要な場所です。

今回訪れる「陽楽の森」と「當麻寺護念院」は、「自然とともに生きる」という想いを大切にしながら、それぞれの立場・視点で二次的自然を保全しています。両団体への訪問は、新たな自然との関わり方を発見し、自然共生サイトの取得にも繋がる貴重な機会です。皆様の参加をお待ちしています！

参加費 : 3000 円 (シャトルバス代、昼食代込) ※当日支払い

持ち物 : 動きやすい恰好、防寒具

募集人数 : 20 名 (1 団体 2 名まで)

環境保全に関心がある企業・団体の参加をお待ちしております。

申し込みは右記 QR コード

または <https://forms.gle/WzpyUkm7tgH6GTR4A> まで

電話 : 075-708-8587

メール : office@addplants.co.jp

でも受け付けています。



11/30(日) まで

主催者の問い合わせ先：関西広域連合広域環境保全局（滋賀県自然環境保全課 担当：小西） TEL 077-528-3483

事業内容に関する問い合わせ先：株式会社アドプランツコーポレーション（担当：増永、下山）
TEL:075-708-8587 E-MAIL:office@addplants.co.jp

【午前の部】

10:00 ~ 王寺駅南口ロータリー集合 (JR 大和路線、和歌山線 / 近鉄生駒線)



ツアーはマイクロバスで移動



10:10 ~ 11:40 陽楽の森

「ひとと里山林の関わり方」陽楽の森プロジェクトの発起人である谷茂則様に陽楽の森と人との関わりについて解説いただきながら里山林内を散策します。



12:15 ~ 當麻寺護念院に移動後、昼食

【午後の部】



13:00 ~ 14:30 當麻寺護念院

「寺院としての自然との関わり方」環境保全活動にも積極的に取り組んでいる葛本雅崇ご住職から庭園の管理方法と寺院としての地域や自然との関わり方を解説していただきます。



14:30 ~ 話題提供：①訪問先の課題と展望

②企業向け自然共生サイト認定と好循環な仕組み

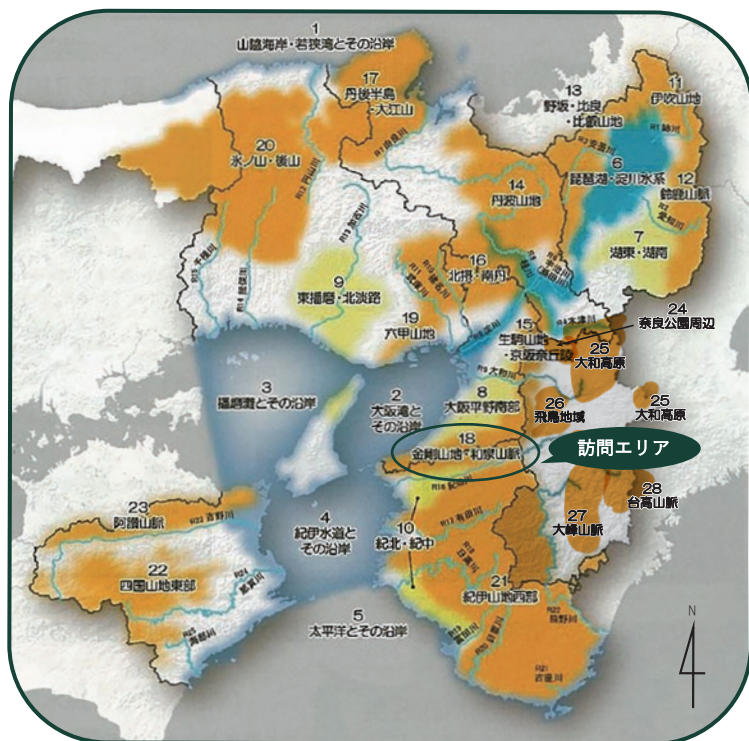


15:00 ~ 15:40 意見交換会

参加団体の課題や今後の取り組みについて皆さまで意見交換を行います。



16:00 解散 マイクロバスで尺土駅まで送迎 (近鉄南大阪線 / 近鉄御所線)



「関西の活かしたい自然エリア」

関西広域連合では博物館ネットワーク等を活用し、森・川・海のつながりを重視し、府県域を越えた広域的な視点に立ち、生物多様性保全上重要な地域として、23 区域にわたる「関西の活かしたい自然エリア」を選定し、公表しました (平成 28 年 11 月 17 日)。構成自治体の境を越えて生物多様性に係る地域の自然的・文化的資源 (以下「地域資源」) の情報の共有を図るとともに、自然エリアにおけるエコツアーの推進等を通して地域資源の保全・活用や自然エリアの生態系サービスの維持・向上を図っています。訪問先の「陽楽の森」、「當麻寺護念院」は、18、金剛山地・和泉山脈に該当します。



HP

陽楽の森

〒636-0021 奈良県北葛城郡王寺町畠田 2 丁目

「陽楽の森」は、奈良県北西部の北葛城郡王寺町と上牧町にまたがる約 50ha の小さな丘のような森。

高度経済成長期のニュータウン開発の中で残された都市林で、JR 近隣駅から徒歩で訪ねることができる。森林全体のうち 10ha ほどが谷林業の関係所有地となっており、「様々な主体によって里山を保全するパートナーシップができてい」ことが評価され、2023 年 10 月に環境省の「自然共生サイト」に認定された。



大和森林管理協会理事
谷茂則

奈良県内に約 1500ha の山林を所有・管理する谷林業の代表取締役社長。吉野郡のスギ・ヒノキ林の管理だけでなく都市林の「陽楽の森」の活動の場としている。

陽楽の森プロジェクトの発起人である。

當麻寺護念院

〒639-0276 奈良県葛城市當麻 1263

護念院は當麻寺塔頭の中核をなす浄土宗寺院。中將姫の棲身旧跡寺院 (中將姫がお住まいであったお寺) として多くの信仰を集めている。古来より、中將姫をお祀りし、中將姫が来迎される様を現した當麻寺練供養会式に中心的な役割を果たしている。當麻寺練供養会式は 2024 年に国の重要無形民俗文化財に指定された。現在は江戸時代の菩薩装束の復元新調に取り組んでいる。「お寺で始める SDGs」としてカーボンニュートラルの実践も行っている。



護念院住職
葛本雅崇

2005 年 5 月 ~ 護念院第 22 世住職

寺の住職として地域に根ざす一方で、公立小学校の校長も務め、環境保全にも熱心に取り組んでいる。

自然との融合を目指した庭園維持管理方法を模索している。